

令和5年度 中川中学校 キャリア教育まとめ

中川中学校 中島千博

1. はじめに

本年度、本校ではキャリア教育を「社会的・職業的自立に必要な基盤となる能力や態度の育成を通して、自分らしい生き方の実現を促す活動」と捉えるとともに、特定の活動や指導方法に限定するのではなく、様々な教育活動を通して実践していけるように努めていことを大切にしながら実践を進めてきた。

〔令和5年度 総合的な学習の時間 年間計画〕

総合的な学習の時間（1年：50h、2・3年：70h）			
フリーラーニング（30h） 「自立した学習者として、個で課題を追究していくための創造的・探究的活動」		学年学級総合（1年：20h、2・3年：40h） 「仲間とともに学び方を学び、自己の生き方を考えていく創造的・探究的な活動」	
発見期		1年	文化祭発表準備（1h） 職場体験事前学習（7h） 上記以外（12h）
自ら中川村についての課題を見つけ取り組もう。地域の人々と交流をし、中川村の良さや解決すべき課題を再発見しよう。活動計画を立て、自らの1年間の学びを考えよう。			
創造期	発信期	2年	職場体験・事後（12h） 進路学習（5h） 文化祭発表準備（2h） キャリアフォーラム（3h） 上記以外（18h）
実際に見たり、体験したりしたことを元に、課題の解決方法を考えよう 仲間とともに学びを深め、全ての人が住みやすい・働きやすい村づくりのプランを考えよう。	自分を見つめ、社会を見つめ、人生を見つめ、個やグループで魅力ある中川村を発信しよう。どんな発表ができそうか考え、場や方法を自分で選ぼう。 ふれあい広場（2h） 商工祭（2h） 中学生議会（2h）		
		3年	文化祭発表準備（2h） 進路学習（14h） 上記以外（24h）
共通			
<ふさわしい探究課題>		<育成を目指す具体的な資質・能力>	
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
地域の文化	自己を取り巻く環境と日常生活との関係	<ul style="list-style-type: none"> 地域の歴史や文化を理解する 進んで地域の人々とふれあい、地域の情報を調べたり、整理したりする 	<ul style="list-style-type: none"> 複雑な問題状況の中から、適切に課題を設定する 課題解決を目指して事象を比較したり、因果関係を推測したりして考える 異なる意見や他者の考えを尊重した上で、自分の考えを分かりやすく伝える
職業	地域で働く人々の仕事に対する姿勢や願い	<ul style="list-style-type: none"> 職場体験などから仕事の大切さを理解する 体験活動で得た情報を比較したり、分類したりする技能を身につける 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の将来を考え、夢や希望を持つ 自己の目標を明確にし、課題解決に向けて計画的に行動する 互いの特徴を生かして協働して課題を解決する
キャリア	自己理解を深め、自己実現を目指した能力・適性に応じた進路	<ul style="list-style-type: none"> 進路への関心を高める 進路の知識や情報を調べたり、整理したりする 能力・適性に応じた進路選択をする 	<ul style="list-style-type: none"> 学びに向かう力、人間性等 課題の解決に向けて、社会活動に参画する

上記の活動以外にも、例えば、道徳の時間において人権教育の一環として、1学年ではアイマスク車椅子体験を通して共生社会を考えたり、国語の授業では地域や社会全体で問題になっていることを想起し、それについて自分の考えをもち、適切な根拠を用いて論理的に意見文を書く等の活動に取り組んだりした。

2. 実践報告

(1) 総合的な学習の時間（フリーラーニング）

今年度、本校では総合的な学習の時間30時間を「フリーラーニング」と位置づけ、各自が追究したいテーマを決め、探究活動を行った。また、生徒の探究活動を支えるため、地域の方にボランティアスタッフ参加していただいた。さらに、各自で追究した内容を①中間報告会②まとめの報告会において発表した。

〔生徒の感想から〕

- 今日のFLでドーナツを作りました。途中でバターがしっかり溶けきらなくて大変だったけど、味はおいしかったので良かったです。次は失敗したところを修正していきたいです。
- 今日のFLで試作品のバットを作って、グリップの部分まで完成しました。結構細くできたのですが、細く削るのが大変でした。
- 今日のFLでカボチャのクッキーを作りました。ちょっと焦げたけれど、味はおいしかったので良かったです。他のみんなが作ったのもおいしかったです。
- FLの最終報告会があり、他のクラスの人と意見交換をしました。自分のまとめができたことで、追究する楽しさや調べる力が少しいたかなと感じられた。また、中間発表の時に「～したい」と言っていたことを多くの人が実現していて、目的や計画内容が明確だからこそできるんだなって思った。FLをやっていろいろな感想をもらったので良かった。
- 今日、FLの最終発表会があった。今日でFLは終わりなので、今までの成果をグループで共有しました。僕は中川村の川について調べたので、その成果と感想を伝えました。画用紙に書いて伝えました。分かりやすく伝えられたので良かったです。他の人の発表もすごくユニークで、探求していた内容を分かりやすく説明していたと思います。来年は違うテーマで探求したいです。

〔探求の振り返り〕

(テーマ：車の空力向上に伴う燃費向上について)

- 空気の流れが付ける前より良くなって、燃費が向上したことがわかった。何かを自分で探究する楽しさを知ることができた。

(テーマ：世界と日本について)

- お金の種類がたくさんあるということ、日本と世界の学校は全然違うということが分かった。

(テーマ：MVをつくる)

- 自分の納得いくものをつくるには何回も失敗したり、沢山の時間をかけて練習・研究したりしなくてはいけないことが分かった。

(テーマ：走りの探究)

- 自分の走りをカメラで撮って改善点を見つけて練習してまたカメラで撮って比べた。意識をすることで変わるということが分かった。



(2) 中川村キャリアフォーラム

例年、2学年を中心として実施していたキャリアフォーラムであったが、今年度は地域の方との結び付きを強めるとともに、働くということを知る機会として、全学年が参加し、中学生が企業のブース(34)を自由に回り、企業の方と話をすることで、企業の方の思いや働くことについて考える機会となった。生徒の感想には「地域にこんなに多くの企業があることを知らなかった」「それぞれの企業が目的をもって仕事をしていることが分かった」「『働くこと=お金を得ること』ばかりではないことが分かった」など、働くことに関して見方や考え方を深める機会となった。地域の方からも肯定的な意見が寄せられており、来年度も同様の方向で実施する準備を進めている。

〔生徒の感想から〕

- 今日のキャリアフォーラムで、中川村で働いている方たちの話を聞きました。自分が一番気になっていた村の図書館の方の話聞いて、面白かったし、司書の資格を取るの簡単だし、情報を集めたりする時に生きてくるという話を聞いて、さらに興味を持った。
- 今日はキャリアフォーラムがありました。司会は少し緊張したけれど、やり切ることができたので良かったです。そして、私が回ったブースの中で一番印象に残ったのは、訪問介護の「ぼれぼれ」でした。こういう仕事があることは知っていたけれど、中川村にあるということは知りませんでした。そして、病院の仕事とは違っているけれど、とてもいい仕事だなと思いました。また「ぼれぼれ」は、自分たちで過ごしやすい職場を作っているようで、とてもすごいなと思いました。
- 今日はキャリアフォーラムで、様々な企業の方のお話を聞いた。特に印象深かったお話は、奏の森さんの「50年前に植えられた木を、自分たちの手で活かしたい」というものだった。自分だったら、植えた人や土地を持っている人に任せてしまおうかな…と思ったので、整備して家になった木や体験施設になった森を大切にしなければいけないと思った。
- 今日はキャリアフォーラムがありました。2カ所目で聞いた事業所の方の話がとても面白かったです。そば道場という事業所だったのですが、その仕事というより、自分たちの進路や地元の話などが聞けて良かったです。時間があったら、飯島にあるらしいので行ってみたいです。



(3) アイマスク・車椅子体験

1年生では、後期の人権月間に合わせ、アイマスク・車椅子体験を行った。地域の社会福祉協議会の協力を得て、アイマスクや車椅子を使い、目や足の不自由な方の生活について考える機会を設けた。生徒たちにとって馴染みのある学校でも、目が見えなかったり歩けないという状況を経験することで、障がいを持っている方に思いを寄せ、自分たちにもできることがあるのではないかと考える生徒が見られた。また、社会福祉協議会の方の協力を頂くことで、地域の福祉事業に対する認識が深まった生徒も見られた。

〔生徒の感想から〕

- 今日道徳の時間にアイマスク体験をしました。最初に体育館で社協の方から説明をしてもらい2人でペアになって、アイマスクをしながら校舎を回りました。いつも使っている校舎だからそんなに困らないと思っていたけれど、実際にやってみると、やっぱり目が見えないと怖いんだなって思いました。目が見えない人ってこんな感じなんだって思ったので、自分で手助けできることがあればやってあげたいです。
- 道徳の時間にアイマスクと車椅子の体験をしました。最初に車椅子の体験をしました。車椅子に乗る人と押す人に分かれ、途中で交代しながらやりました。やってみると、水道を出したりトイレの戸を開けたりするのが難しかったです。普段生活しているとそんなことをあまり感じなかったけれど、体験をしているといろいろなことが分かって良かったです。
- アイマスク体験をしました。やってみて思ったことは、世話をする人が具体的に話さないとその時の様子がよく分からないということです。私もやってみて、何となく「あっち」とか言われても分からなかったことがありました。自分の周りには目の不自由な人はいないけれど、将来いろいろな人に会うと思うので、今日学んだ事を大事にしたいと思いました。



3. 今後の課題と展望

(1) フリーラーニング（FL）について

今年度からのスタートであったため、生徒によっては追究課題がなかなか決まらなかったり、課題がその都度変わってしまったりすることで十分な探究ができずに終わってしまった生徒がいた。来年度はその点も踏まえ、見通しを持って活動に入れるようにしたい。また、地域ボランティアの方に入って頂くことで教員の負担が軽減され、地域との結び付きが強くなることが分かったので、来年度も地域の方に入って頂く方向で検討したい。さらに、追究の発表の方法については、校外への発信も含め検討をする必要があると考える。

(2) キャリアフォーラムについて

今年度は多くの地域の方と関わり、働くことについて考える機会を作るという目的から全校生徒（小6も一部参加）が参加する形とした。来年度も全校参加の形を取り、村内の小学生にも参加を呼びかけることで、早い段階からキャリア教育を始めていきたい。また、村教委と協力し、地域の企業の方との連絡を密にすることで、より多くの企業の方に参加して頂くことを考えたい。さらに、キャリアフォーラムを「職場体験の発表の場」とはせず「働くことを学ぶスタートの場」と考えたい。

